

1. 人的な被害

①死亡者数・負傷者数

死亡者数 1,470 人 (平成8年12月26日 神戸市発表)

負傷者数 3,383 人 (兵庫県警調べ)

2. 物的な被害と復旧状況

①全壊・半壊家屋棟数一覧

※全焼・半焼を除く(単位:棟)

区	① 全壊棟数	② 半壊棟数	③ (①+②) 合計棟数	④ 全棟数	⑤ (③÷④) 倒壊率(%)
東灘区	13,687	5,538	19,225	39,003	49.3

平成7年12月現在

②ライフラインの被害

水道

I. 水道施設の被害

水道施設の中で特に被害の大きかったのは、配水管・給水管である。橋梁の被害の影響を受け、橋梁に添架した水道管が破損したり、臨海部や旧河川敷等の地盤条件が悪いところで継ぎ手が抜け出したりといった被害が多数発生した。

一方、配水池等の建造物の被害は今回の地震の規模からみれば思いのほか少なかった。これは、これらの建造物が概ね良好な地盤に立地していたことのほか、基礎に十分な配慮がなされていたためと思われる。

また、今回は水道局本庁が圧潰したのを始め、庁舎等も大きな被害を受けた。そのため、情報の収集や発信など、情報連絡網の確保が困難な状況となった。

1. 上水道の被害状況

本山浄水場は、洗浄水槽のクラックや配水管などから漏水がみられた。住吉浄水場では被害はほとんど認められなかった。

送水施設では、甲南特1送水管で漏水が発生し、本山送水管路トンネルでは一部が圧潰し、内部に収容した送水管に継手漏水や亀裂が発生した。

配水池の被害は軽微なものであった。

配水管の被害件数は地区別で東部(東灘区、灘区)がもっとも多く、六甲大橋、御影大橋、深江大橋添架部分などが損傷を受けた。給水管の被害も西部(長田区、須磨区)の次に東部の件数が多かった。

配水管・給水管の修繕件数(平成7年8月1日現在)

	配水管	給水管			合計
		道路上	宅地内	計	
東部(東灘区、灘区)	876	4,687	22,245	26,932	27,808

※修繕件数は、1カ所の被害箇所につき複数回の修繕を行った場合の件数、早期給水確保のための仕切弁設置工事の件数を含む。

2. 工業用水の被害状況

工業用水道の施設では、導水管路、浄水場等市外にある施設のほか、市内の配水管にも破損等の広汎な被害を受けた。特に、幹線の大口径の導水管・配水管の漏水や、埋め立て地における地盤の液状化による継手漏水が多数生じた。

区内の施設の被害は、送水管（森北町4・他）の漏水、本庄配水管（東部第4工区）の漏水・橋梁取付部破損、東灘配水管（東部第2・3工区、六甲アイランド）の漏水・橋梁取付部破損などである。

工業用水配水管 被災状況集計表（平成7年6月現在）

	管割れ	継手漏水	仕切弁損傷	空気弁損傷	水管橋損傷※	計
東灘区	9	26	11	13	7	66

※橋部は損傷が2カ所以上でも1橋梁を1箇所とした。

3. 水道局各庁舎の被害状況

水道局では、本庁が圧潰したのをはじめ、東部営業所は上部の市営住宅圧潰（3階部分）により撤去となった。

そのため東部営業所は、当初は本山浄水場に本部を設置し、その後、本山親子遊園に仮設の営業所を設置している。

II. 復旧状況

通水率の推移（東部営業所）

月日	1/19	1/24	1/31	2/7	2/14	2/21	2/28	3/7	3/14	3/21	3/28	3/31	4/17
%	12.0	40.2	48.4	55.5	71.5	73.0	84.1	86.6	94.6	98.5	99.9	99.9	100.0

配水管漏水修繕件数の推移（東部営業所）

月日	2/9	2/14	2/21	2/28	3/7	3/14	3/21	3/28	3/31
件	149	216	312	424	507	621	701	750	767

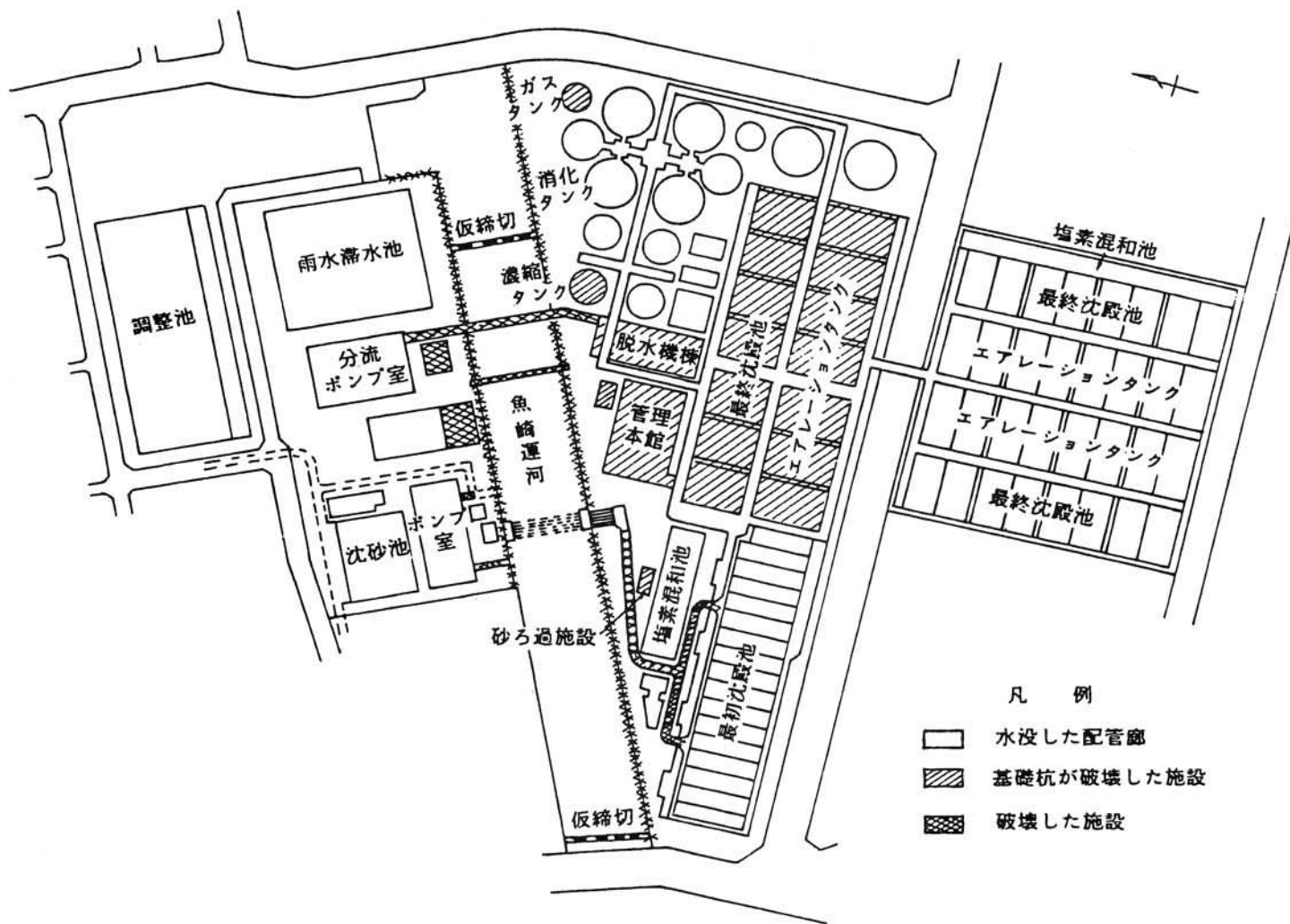
下水道

I. 被害状況

1. 東灘処理場（下水処理施設）

東灘処理場は、埋立地である東部第3工区内に位置し、その地盤は決して良好なものではないことや埋立ての護岸の崩壊などの原因により、神戸市の処理場の中では最大の被害を被り、その処理機能は停止した。

東灘処理場（225,000 m ³ /日）被害の概要
流入水路破壊、処理施設・建築施設の基礎杭破壊、 運河護岸崩壊、放流渠破損、水処理設備水没と破損、 連絡橋破損、場内舗装大破



東灘処理場の被害状況

2. 東部スラッジセンター（汚泥焼却施設）

東部スラッジセンターでは、東灘処理場の砂ろ過水を冷却用水として使用していたため、東灘処理場の機能停止により運転できなくなった。

施設そのものの被害は少ないが、電気集じん機の碍子^{がいし}の破損、灰出しコンベヤの損傷のほか煙道の破損と場内道路の沈下等の被害が発生している。

3. ポンプ場

魚崎ポンプ場と深江大橋ポンプ場および向洋ポンプ場の3ポンプ場が、圧送管路系統の支障により送水できなくなった。

4. 下水道管

汚水枝線の被害の大きかった地域は、地震による揺れが大きかった区域とほぼ一致し、東灘区では被害延長が大きくなっている。しかし、下水道管路の被害状況と路面の被害状況はかならずしも一致していない。

汚水幹線は埋設深度が深く、能力に支障を及ぼすような被害は比較的少なかった。応急的な復旧

下水道管の被害状況（東灘区）

	幹線数	調査延長(m)	被害延長(m)
汚水枝線		220,500	10,225
汚水幹線	32	83,900	4,500
雨水幹線	151	74,800	1,083

を要するような被害があったのは、管路が落下した深江大橋水管橋である。

雨水幹線の被害分布も汚水枝線と同様の傾向が見られる。

5. 排水設備

各家庭に設置されている排水設備は、その埋設深度が浅く、また、建物と併設されているため、地震の揺れや地盤の破壊などによって多大な被害を受けた。

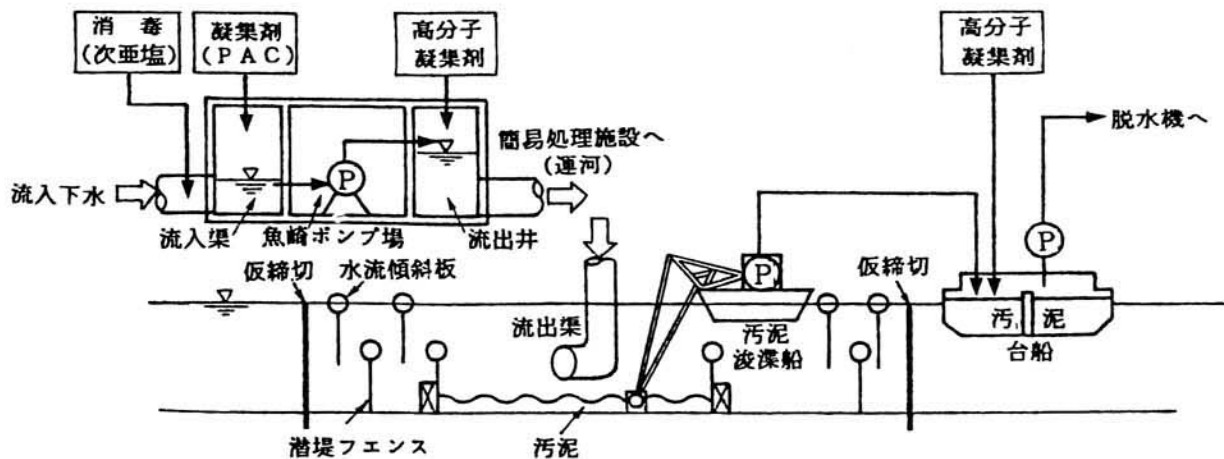
II. 応急復旧

1. 東灘処理場

処理機能は完全に停止したが、断水のため流量も少なく、雨水ポンプを用いて消毒とスクリーニングのみで汚水の排除機能だけは確保できた。

復旧工事は地震の翌日の平成7年1月18日より着手した。水没した地下施設の漏水箇所の止水工事、機器類の整備、流入管の管種変更、放流管の補修などの復旧工事を行った。通常の処理機能が回復し、全流入量の二次処理を再開したのは平成7年5月1日であった。

一方、応急復旧にかなりの時間を要することが予想されたので、公共用水域の水質保全を考慮して、幅40mの運河を長さ300 mの区間で締め切り、仮沈殿池を建設し、2月7日から簡易沈殿処理を行い、3月27日には運河の浚渫と汚泥脱水を開始した。運河の浚渫と汚泥脱水は沈殿汚泥がなくなるまで、5月1日以降も継続し、現在ではすっかりもとの運河にもどっている。



東灘処理場仮処理施設の概要

2. 東部スラッジセンター

冷却水に海水を利用することが決定され、海水取水設備工事と海水対応のための設備工事などを実施し、平成7年2月14日に仮の機能を復旧した。

海水利用に伴う施設の損傷を最小限にするため、3基の炉のうち1基のみを海水利用の運転としており、かつ1週間運転のあとは1週間洗浄するという工程の繰り返しのため、能力は当初の半分以下に落ちた。このような状況で、各処理場では汚泥を極力出さないように運転していたが、限界があり、汚泥脱水ケーキは一部フェニックス事業に直接処分することで対応した。

5月1日の東灘処理場の運転再開に伴い処理水の利用が可能になり配管ルート補修を経て6月初から本格運転に復帰した。

3. ポンプ場

機能回復のための復旧工事を緊急的に実施し、平成7年5月1日にはすべてのポンプ場の機能を回復することができた。

4. 下水道管

応急復旧工事については概ね平成7年5月末に終了した。汚水枝線については、東灘区内では3,002件の応急復旧処置を行った。汚水幹線の深江大橋水管橋は仮設配管の設置で対応した。雨水幹線は、閉塞、損傷、土砂堆積などの応急復旧を行い、神戸市全体で417件であった。

5. 排水設備

神戸市に相談や修理業者の問い合わせなどが殺到したので、対応するため、神戸市管工事業協同組合に、主に業者紹介や相談の窓口を設置して情報の一元化を行い、迅速な対応を心掛けた。

また、各家庭の排水設備を通じ、汚水を公共下水道に早く取り込むため、各戸の接続ます及び取付管の総点検（ローラー作戦）を被災地を中心に約12ヵ所にわたり実施した。

修理受付の状況 (管工事業協同組合、下水道局、 業者直接受付総数)		修理受付内容 (管工事業協同組合受付)	
1月	1,392	ますの破損	635
2月	7,293	排水管の破損	2,145
3月	3,347	トイレの損傷	519
4月	1,426	トイレのつまり	1,215
5月	1,006	取付管、接続ます破損	253
合計	14,464	その他	355
		合計	5,122

(平成7年5月31日現在) (平成7年5月31日現在)

III. 本格復旧

1. 東灘処理場

東灘処理場は非常に大きな被害を受けており、相当大規模な復旧工事を実施する必要がある。運河護岸の滑動により被災した管理本館や汚泥脱水機棟は位置を変更して建設するなど、地震に強い施設となるよう計画されている。

本格的な復旧工事が完了するのは、平成9年度の予定であるが、これらの復旧工事は稼働中の処理場の復旧であり、何段階かに分けて実施される予定である。

東灘処理場の復旧概要

施設名	復旧概要
最初沈殿池流入管	耐震性を考慮して、ボックスカルバート構造を鑄鉄管2条に変更し、現位置に復旧
管理本館	運河護岸の滑動による地盤崩壊で被災したため、位置を変えて滞水池上部に建設
水処理施設	本場のエアレーションタンク、最終沈殿池全系列を、ほぼ現在の位置で形状を変えて建設 水処理施設建設時の処理能力低下を補うため、分場第4系列の機械、電気設備を増設
送風機室	本場水処理施設復旧に併せて、その覆蓋上部に建設
脱水機棟	運河護岸の滑動による地盤崩壊で被災したため、位置を変えて現在の本場水処理施設6、7池付近に建設
砂ろ過施設浮上濃縮槽	現位置で撤去、復旧
発電機室	塩素混和池上部に建設
運河護岸	現在の護岸を補強して復旧

電 気

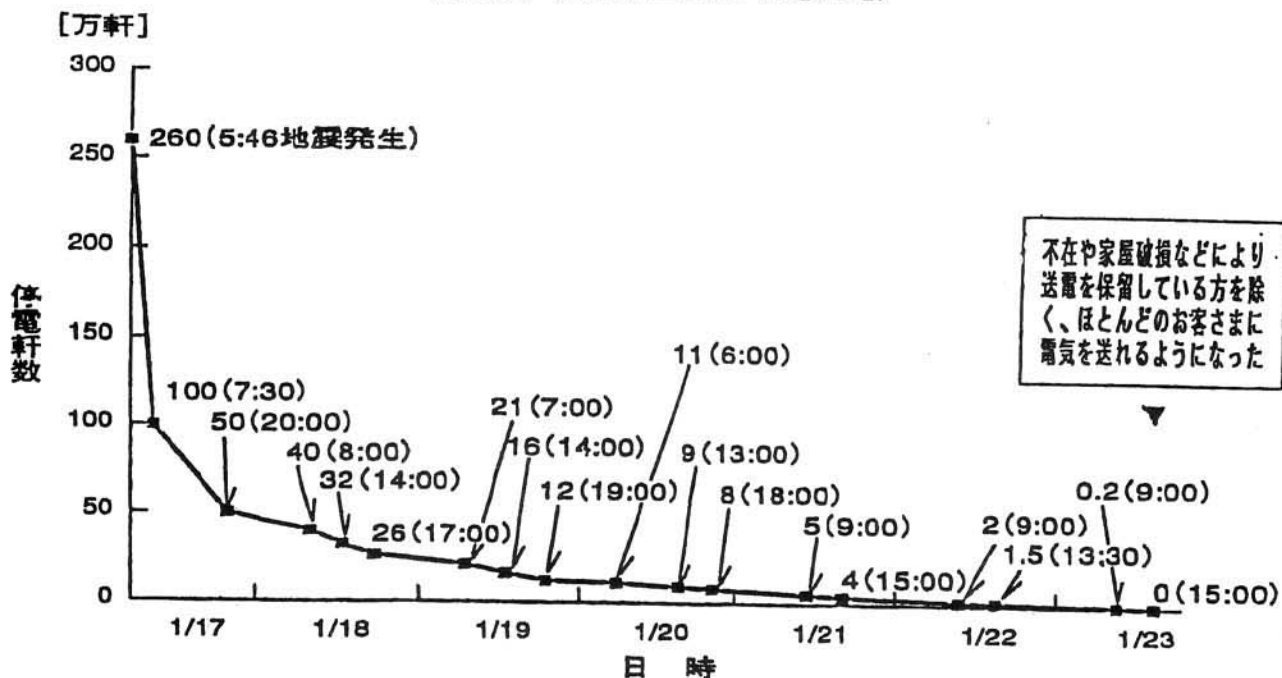
I. 主な被害と復旧状況

項目（被害設備等）	被害数	被害状況等	復旧状況
停電軒数 (東灘区および中央区のほぼ全域、灘区)	(発生当初) 24.2万軒	中央区、灘区、東灘区全域において停電	東灘区は1/22 応急送電完了
電柱 (東灘区および中央区のほぼ全域、灘区)	約 4,000本	折損傷、倒壊、傾斜などの被害	H8. 3月末 復旧工事完了 ※
東灘ガスタービン 発電所	1箇所	貯油タンク基礎杭露出など	H8. 6月 復旧工事完了

※ほぼ復旧工事を完了しているが、一部の設備については道路の補修や街づくりに合わせて進めていくこととしている。これらについても安全上問題がないことは十分確認している。

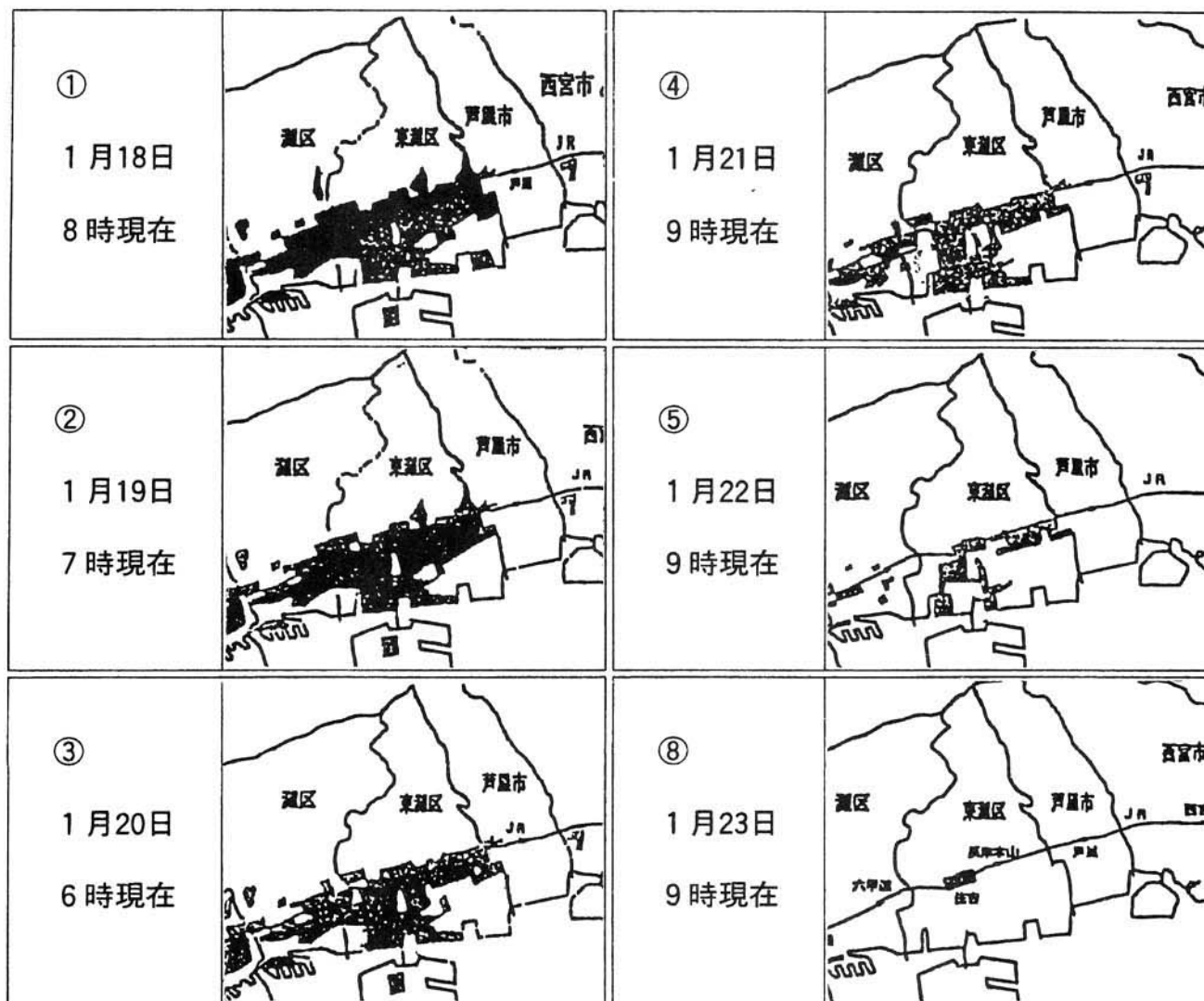
II. 関西電力管内における停電軒数の推移

153時間（昼夜をとわない応急送電）



不在や家屋破損などにより送電を保留している方を除く、ほとんどのお客さまに電気を送れるようになった

東灘区の停電状況の推移



I. 被害状況

被災状況の調査の結果、泉北・姫路・北港の各製造所や高圧幹線、ガスホルダーには被害がなく、中央司令室やコンピューターセンターなどの基幹設備に異常はなかった。

しかし、中圧ガス導管には被害があり、低圧ガス導管にも大きな被害が発生していた。漏洩したガスへの引火等の二次災害を防止するため、17日午前11時30分、特に被害の大きい神戸市、芦屋市の一部のガス供給停止を決定した。その後、供給停止地域を順次拡大し、神戸市や阪神地区を中心に約834,000戸のガス供給を停止した。また、大阪市、豊中市、尼崎市、伊丹市の一部約23,400戸についても、ガス導管の損壊箇所からの差水等により供給が停止した。以上、合計857,400戸のガス供給を停止した。東灘区では全域停止となった。

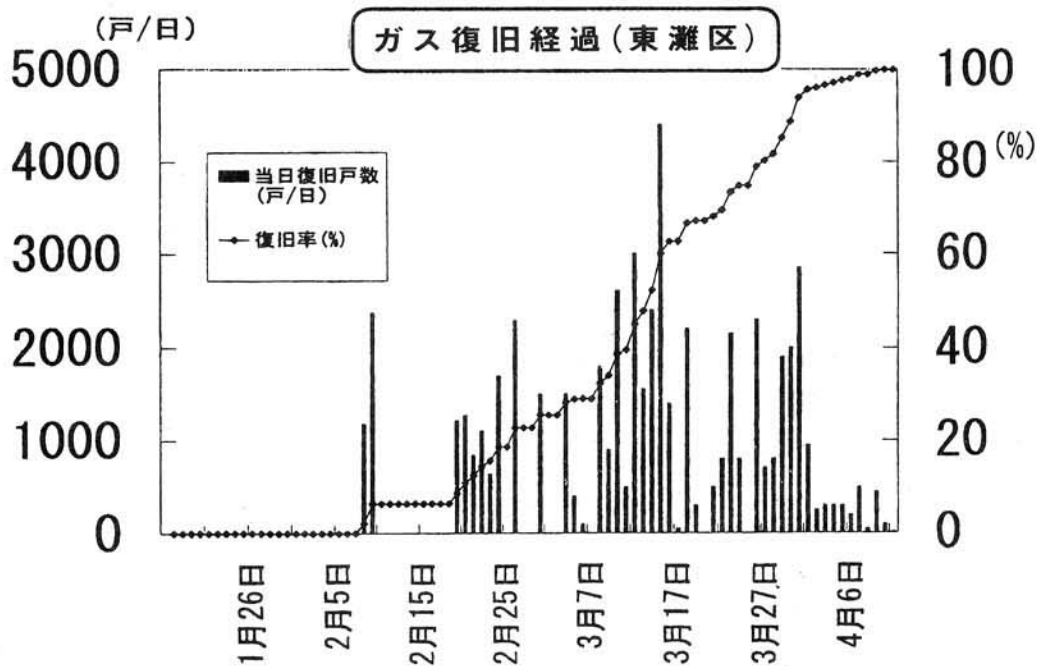
II. 復旧するまでの代替エネルギーの供給

供給停止地区の病院、学校、福祉施設などの公共性の高い施設に、カセットコンロ、LPガス、移動式ガス発生設備などにより、代替エネルギーを供給した。

一般の家庭には供給停止地域の地元自治体や自治会を通じて、約18万台のカセットコンロと約117万本のボンベを提供した。

また、大阪ガス(株)の敷地内や避難所などの合計30カ所に、仮設風呂、仮設シャワー、車載型シャワーを設置した。

被災者向けの仮設住宅には、プロパンガス業界と協力してLPガスの供給を迅速に行った。



注) 復旧戸数 : 55,410戸

Ⅲ. 復旧状況

ガス供給は、製造所から高圧幹線、中圧ガス導管を経て、低圧ガス導管で各家庭に供給される。

復旧作業はガス供給の流れに沿って上流側から行った。今回の震災では製造所、高圧幹線に異常はなかったため、まず、中圧ガス導管の点検・修理を行い、その後、低圧ガス導管の点検・修理に取りかかった。

中圧ガス導管については、導管、建物道路の被害状況などを勘案して、順次作業を実施し、平成7年2月24日に復旧を完了した。

低圧ガス導管の復旧作業は、供給停止地区を約3,000～4,000戸単位のプロックに区分けし、1プロックを原則的に4～5日のサイクルで行った。

ガスの供給を停止した約857,000戸のうち、約152,000戸は家屋の倒壊や焼失により当面のガスの使用が見込めないと判明し、これらを除いた約705,000戸について復旧作業を進め、瓦礫の堆積による道路封鎖などのため復旧作業に取りかかれな部分を除いて、平成7年4月11日、復旧作業を完了した。

N T T

通信施設の被害と回復状況

今回の兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）は情報化社会になってから初めて経験する大都市の直下型地震で、兵庫県を中心に未曾有の大災害をもたらした。電気通信サービスもこの被害を免れることはできず、設備被害と共に過去の被害のいずれも上回る通話の輻輳（通話量が回線設備容量を上回り新たな通話がかかりにくくなる状態）という事態に直面した。

本震災では、加入者系通信ケーブルは、193,400回線（うち神戸市121,950回線）が被害を受けたが、家屋倒壊等により早期のサービス復旧が困難なものを除く約10万回線の故障については平成7年1月31日にほぼ回復した。また交換機は商用電源の停止とバックアップ電源の損壊により、東灘区では59,000加入が故障したが、移動電源車の出動などにより、1月18日午前中までに回復した。

1月17日には全国から神戸方面に対して通常ピーク時の50倍、18日には20倍程度のコールが集中し、輻輳が発生した。

輻輳中は重要通信の確保と被災地域からの発信を確保するため通話規制が行われたが、急遽回線増設等を実施したことにより、1月22日からは全国的な規制はなくなった。

通信確保のため、衛星車載無線局等により、避難所を中心に特設公衆電話機約2,800台（FAX約350台含む）を設置し、緊急通信等の確保に努めた。

なお、東灘区では特設公衆電話機35カ所、162回線（平成7年1月28日現在）を設置した。

ごみ処理

I. 被害状況

東クリーンセンターが被災し、家庭ごみの搬入がストップした。東クリーンセンターの被害の程度は大きく、運転再開は平成7年2月に入ってからとなった。

震災によりごみの総排出量が増大し、道路の寸断、交通の大渋滞と併せ定曜日に関係なく、荒・生ごみの区別もなく出された。また、布施畑、淡河処分地への道路が大渋滞となり、市直営車もこれらの渋滞に取り込まれ、収集効率が極端に落ちた。このような状況の中、市内至るところで大量のごみが歩道は言うに及ばず道路をも塞ぐ状態となり、復旧の妨げとなった。

II. 復旧状況

市街地の事業所では職員自身が被災しており動かせる車の台数が少ないため、当面は家庭ごみを中心に収集をし、荒ごみについては、通行上の支障のあるもの、緊急を要するものには極力対応することとした。

家庭ごみについては、2月上旬に概ね全事業所が定曜日に戻ることができた。荒ごみについては、震災により総排出量が極端に増大し定曜日に関係なく

出される状況の中で、道路の寸断、交通渋滞と併せて、通常的手段だけでは対処できない状況であった。他都市をはじめ、多くの方々の努力の結果、概ね3月上旬に定曜日に戻ることができた。

大量に出る荒・生混合ごみを速やかに撤去するため、ごみの仮置場を設けそこに集積し、中継車により最終処分地に搬入した。東灘区は東クリーンセンターの隣地を仮置場とし、そこから不燃系ごみを環境センターに搬入した。1月から3月までは淡河環境センター、4月以降は布施畑環境センターへ搬入した。

東クリーンセンターの被害状況

施設能力	690 t / 日 (230 t × 3)	
竣工年月	昭和50年5月	
被害の度合	プラント	やや大
	建物	大
	屋外関係	大
被害の概要	プラント	①計量器故障 ②助燃バーナ用灯油タンクの傾き ③放流水配管破断 ④特高引き込みケーブル地盤沈下による損傷
	建物	①煙突ひび割れ ②玄関ひさし変形 ③ごみ積出場破損 ④食堂一部破損 ⑤投入ステージ鉄骨プレス曲がり
	屋外関係	①構内全体に40~50cmの地盤沈下 ②護岸沈下・1mずれ ③上水・工水埋設管破損 ④土間下排水管破損、便所浴室使用不能
引き込み関係復旧日	電話	1 / 17
	電気	1 / 19
	ガス	4 / 30 (1 / 29 : 灯油)
	上水道	2 / 19 (4 / 12 : 工水)
運転再開日	2 / 20	

③公共施設の被害（平成8年2月現在）

施設名	住所	損壊状況	施設閉鎖期間	避難所利用期間	被害額(概算)	現在の状況	継続状況	その他	
東灘区民センター	住吉東町5-1-16	一部損壊	7/1/17～8/4/1	なし	222,975,000	全体閉館	0	8年4月2日から全面再開。	
	被害状況・外観 被害状況・内装	壁面パネルが数枚落下、外溝の破損・沈下。 4階（壁クラック、床タイル割れ、天井落下）、5～7階（壁クラック、床タイル割れ、舞台天井落下、舞台反射板破損、フローリング波打ち、木損）、8～9階（壁クラック、床タイル割れ、ドア破損）。							
東灘図書館	岡本1-7-3	一部損壊	7/1/17～7/4/27	なし	10,244,845	全体閉館	89		
	被害状況・外観 被害状況・内装	外壁に亀裂、非常階段に一部損壊、ガラス窓にひび割れと破損。 2階（事務室・児童室に内部亀裂、書架一部破損、書架多数倒壊）、3階（低書架倒壊、書物散乱）。							
御影公会堂	御影石町4-4-1	一部損壊	7/1/17～8/3/31	あり	1/17～12/26	13,724,000	事務所のみ	0	8年4月1日から再開。1階ホールは8年5月1日から。
	被害状況・外観 被害状況・内装	外壁に亀裂、ほか調査中。 全館便所給排水管、井戸水中ポンプ、空調機器、天井蛍光灯、ガス配管、その他電気設備、衛生設備に破損。							
住之江公民館	住吉宮町2-2-3	一部損壊	7/1/17～8/1/31	あり	1/20～9/17	6,300,000	全体閉館	20	7年6月16日に3歳児教室再開。7年9月30日文化系教室再開。8年2月3日スポーツ系教室再開。
	被害状況・外観 被害状況・内装	敷地側溝に亀裂、空調用室外機が傾く。 1階（ヘアークラックが多数発生）、2階（体育室の床が沈下、天井の電灯の覆いが落下、壁面にヘアークラック）。							
小磯記念美術館	向洋町中5-7	一部損壊	7/1/17～7/10/2	なし	60,000,000	全体閉館	100	建物修繕は完了。 玄関前や駅からの通路は現在も補修工事中。	
	被害状況・外観 被害状況・内装	玄関前敷石部分の陥没・段差、アトリエ大屋根の瓦のゆるみ、外壁タイルの亀裂。 回廊部分の床石・壁面タイルの亀裂、コンクリート壁の亀裂、雨漏り。							
世良美術館	御影町御影字城の前176	一部損壊	7/1/17～7/2/28	なし			全体閉館	70	7年4月16日以降各種コンサートを開催している。
	被害状況・外観 被害状況・内装	屋上防水部に亀裂。 調査中。							
白鶴美術館	住吉山手6-1-1	一部損壊	7/1/17～7/10/16	なし	106,600,000	全体閉館	300	7年10月17日から12月10日まで復興記念展。現在春期展を開催中。	
	被害状況・外観 被害状況・内装	美術館事務所会議室棟の一部、茶室、収蔵庫屋根崩壊。収蔵庫の土壁崩落、本館展示室外壁・柱・コンクリート崩壊、亀裂。中庭中央青銅製灯が全て倒壊。庭に地割れし段差。敷地境界石垣が一部崩落。 展示室棟全階共照明シャンデリア崩壊、床面フローリング陥没、鉄扉鉄窓が湾曲・破損、渡り廊下壁面に亀裂、事務所棟照明シャンデリアが崩壊、地下室壁が断裂、各書庫とも書棚崩壊。							
香雪美術館	御影町郡家字石野285	半壊	7/1/18～7/9/14	なし	1,538,412,000	全体閉館	100	全国美術館会議の総合報告調査より。	
	被害状況・外観 被害状況・内装	玉石塀の周囲600メートルが崩壊。附属の日本家屋、茶室が半壊、附属の洋館が半壊と一部損壊。収蔵庫が半壊。 美術館のガラス破損（展示室）、天井の通気孔落下、仏像が破損。							
菊正宗酒造記念館	魚崎西町1-9-1	全壊	7/1/16～7/8/31	なし	1,000,000,000	部分営業	60	一部展示場所（参考室）で閉館。	
	被害状況・外観 被害状況・内装	全壊。 全壊。ただし酒造用具類は90%回収。							
白鶴酒造資料館	住吉南町4-5-5	全壊	7/1/17～	なし	未定	機能停止	0	8年3月前蔵上屋のみ復旧。	
	被害状況・外観 被害状況・内装	前蔵中央部大屋根が崩落、2階床部崩落、1階柱倒壊、前蔵・大蔵ともに北方向に傾く。 前蔵1階で柱が崩壊、コンクリート床に亀裂、展示物の多くが倒壊、前蔵2階で麹室（コウジムロ）の米の粉が散乱、展示物に天井の土が落下、大蔵2階で床が地面に向かって傾斜。							
甲南漬資料館	御影塚町4-4-8	全壊	7/1/18～8/11/初	なし	未定	機能停止	0	現在本店の再建計画を推進中。鉄筋別館を修復し、資料館として、現駐車場に新小売店を建設する（8年5月～10月）憩の広場や人工の流れ、日本庭園をつくりやすらぎのあるスペースを設ける。	
	被害状況・外観 被害状況・内装	全壊。鉄筋2階建別館が基礎移動・亀裂、木造2階建が全壊。 保存資料等の多数が取りだし不可。							
福壽酒心館	御影石町1-3-3	全壊	7/1/17～9/11/30	なし	93,000,000	事務所のみ	0	9年3月を目途に酒造工場を新設。周辺を酒テーマパークとして整備予定。9年12月全館オープンを目指す。	
	被害状況・外観 被害状況・内装	全壊。 厨房食器類が半分破損、古道具類が半分以上破損、展示器の全て破損、什器類全て破損。							

施設名	住所	損壊状況	施設閉鎖期間	避難所利用期間	被害額(概算)	現在の状況	稼働状況	その他	
神戸商船大学海事資料館	深江南町5-1-1	一部損壊	7/1/17～8/4/30	なし	60,000,000	事務所のみ	0	8年5月の開館に向け整備中。	
	被害状況・外観 被害状況・内装	壁面に細かいひび割れ。 固定陳列ケースが移動。陳列ケースの転倒破損、展示資料の破損。							
神戸深江生活文化史料館	深江本町3-5-7	一部損壊	7/1/17～7/10/21	なし	2,000,000	全体開館	80		
	被害状況・外観 被害状況・内装	目立った被害なし。 1階(展示ケースが破損、展示物散乱、書架の多数が倒壊、書籍が散乱)、2階(大型ガラスケースが破損、復元模型・遺跡・土器等資料の多くが破損)。							
神戸カメラミュージアム	御影町郡家字上山田105-201	被害なし	7/1/17～7/3/31	なし	0	全体開館	56	7年4月1日から6月30日まで土日祝営業。7年7月1日全体開館	
	被害状況・外観 被害状況・内装	ほとんどなし。 収蔵庫内の壁面に一部にひび割れ、ケース内展示カメラの数点が落下。							
倚松庵	住吉東町1-6-50	一部損壊	7/1/18～7/4/27	なし	419,000	全体開館	50		
	被害状況・外観 被害状況・内装	被害なし。 1階、2階とも壁面にひび割れ。							
兵庫県立健康センター	田中町5-3-20	一部損壊	7/1/17～7/6/16	あり	1/17～8/20	299,316,000	全体開館	60	7年6月17日から風呂・シャワーのみ再開。7年7月1日からプール・トレーニングルーム・ランニングデッキを再開。7年7月7日から体育館を再開。7年9月1日から全館再開。
	被害状況・外観 被害状況・内装	外壁タイル部に一部剥落、その他多数ひび割れ、玄関庭部分に陥没、石畳の破損。 地階機械系統の配管接続部の多くが損壊、受水槽損壊、事務室据付家具に損壊、コインロッカーに一部損壊、検査室書棚損壊、コンピューターシステム破損、体育ホール壁面割れ、その他ひび割れ、損壊多数。							
東灘体育館	魚崎南町6-5-11	一部損壊	7/1/17～7/12/21	あり	1/17～12/14		全体開館	82	7年12月22日から8年1月31日まで学校のみ利用。8年2月1日から一般に再開。
	被害状況・外観 被害状況・内装	エレベーター棟との接続部に亀裂、体育室非常階段の接合部へ亀裂、敷地周辺の側溝・花壇に段差。 競技場の照明設備落下、空調設備の破損、事務室放送設備の配線不良。							
新神戸大プール	深江浜町59	半壊	7/1/17～	なし		500,000,000	機能停止	0	再開の目途なし。
	被害状況・外観 被害状況・内装	プールアルミ底板・プールサイド・壁面・周辺道路にクラック、アルミ底板下が地盤沈下、事務所及び東側トイレが傾斜。 ロッカー室雨漏り、機械室液状化。							
東灘文化会館	住吉宮町2-1-3	一部損壊	7/1/17～7/9/2	あり	1/17～9/2	3,280,000	全体開館	100	生活文化講座の再開は7年9月1日から。
	被害状況・外観 被害状況・内装	東側入口扉が損傷、窓ガラスが破損、敷地周辺通路の損傷、門柱の損壊、西側ブロック塀の倒壊。 1階(スチール扉の損傷、廊下壁にクラック、南館と北館の境に段差)、2階(南館と北館の境に段差、廊下壁面等にクラック、大会議室ドアチェックに損傷)。							
市立中央病院附属東灘診療所	魚崎中町4-3-18	一部損壊		なし		6,000,000	全体開館	80	震災初日から開館。
	被害状況・外観 被害状況・内装	壁面に若干の亀裂のみ、建物周囲の側溝・スロープ・駐車場門扉・塀等に損壊。 漏水、壁面の亀裂・剥離、Pタイルの破損。							
東灘区総合庁舎	住吉東町2-3-28	一部損壊	なし	あり	1/17～3/5	73,000,000	全体開館	100	
	被害状況・外観 被害状況・内装	庁舎のガラスが十枚程度の損害ですんだが、壁とか床に多くの亀裂が入り、特に1階西側外側がひどい。また1階の一部柱(4本程度)にも大きな亀裂ができる等の損害があった。建物の東西方向の中央部から西側が少し沈んだためか、各階の増築部分では全体的に3cmほど沈んでいる。玄関の北側では舗装が割れて沈み、掲示板の部分では擁壁が西側に傾いてしまった。庁舎へのガス管が舗装が割れたため露出した。同様に庁舎西側の進入路(斜路)の擁壁も西側に傾いている。 屋上:冷房機の冷却塔が基礎ごと移動したり、消火栓用給水タンクの基礎が壊れた。塔屋の内外の壁には多数のクラックが発生した。3階:床・壁に多数のクラックが発生。窓が1ヶ所落下した。総務課の南窓枠に歪みが発生。2階:床・壁に多数のクラックが発生。書庫の棚が破損。1階:床・壁に多数のクラックが発生。福祉事務所の南北の出入口の枠に歪みが発生し、扉が閉らない。増築部につけたシャッターが動かなくなった。保健所西壁・柱に大きな破損が発生し南出入口が閉らない。水道管が破損し漏水した。地階:床・壁に多数のクラックが発生。北壁から地下水の滲入。空調機器の煙道内の耐火レンガが落下。							
東灘警察署	御影中町2-3-2	一部損壊	なし	なし		12,700,000	全体開館	100	その他、交番、署長公舎、東灘寮等について半壊・一部損壊の被害発生あり。総額約800万円。
	被害状況・外観 被害状況・内装	外壁面亀裂(庁舎、別館)、外周コンクリートブロック塀の破損、上間コンクリート舗装亀裂。 1～5階(内壁面亀裂)、1～2階(床面亀裂)、4階道場で天井破損、4階更衣室で扉破損、電気設備破損、空調設備破損。							

被害額(概算) = 単位:円

稼働状況 = (%) 対前年度比

4 交通機関の被害

J R

・被害状況

田中町で盛り土が沈下・陥没、住吉駅では上下ホームが崩壊、御影町では高架橋げたが落下し橋脚・柱が破損した。

・復旧工事

高架橋は帯鉄筋を増加させ、鋼板で周囲を覆って強化した。

・復旧状況及び代替輸送

2月8日、住吉～芦屋間運行再開。住吉～三宮間、代替輸送バス運行。

2月20日、三宮～灘間運行再開。住吉～灘間、代替輸送バス運行。

4月1日、住吉～灘間運行再開。全線開通。

阪 急 電 車

・被害状況

岡本駅～御影駅間2.2kmのうち中庄屋架道橋から住吉川橋梁に至る約550mの区間で、もたれ式擁壁（無筋コンクリート、最大高さ約8m）が線路方向に800mm、線路横断方向に1,500mm最大傾斜し損壊した。

・復旧工事

既設擁壁約55,000㎡を撤去した後鉄骨の構台を設置し、その上に軌道床板コンクリートを打ち仮復旧を図った。その後、発泡モルタルを中埋め材としたRC構造のU型擁壁構築にすることによって耐震性を高め、本格復旧。復旧に際しては、景観への配慮から擁壁に化粧型枠を採用したり植栽を施すとともに、擁壁構築後の残地を利用して側道の歩道部分の拡幅も合わせて実施した。

・復旧状況及び代替輸送

2月13日、王子公園～御影間運行再開。御影～西宮北口間、代替輸送バス運行。

4月7日、岡本～夙川間運行再開。御影～岡本間、代替輸送バス運行。

6月1日、御影～岡本間運行再開。

6月12日、夙川～西宮北口間が運行再開、全線開通。

阪 神 電 車

・被害状況

石屋川駅付近の盛土区間、石屋川車庫が崩壊した。

・復旧工事

石屋川駅－仮設で運用していた石屋川駅の本設工事が、3月3日から使用を開始した。新駅は従来の相対式2面ホームに代えて、島式の1面ホームとし待ち合い室を新設し、改札室は道路を隔てて約20m東に移設。

石屋川車庫－7年4月末に解体・撤去。6月、跡地で新車庫の建設工事に着手。柱と梁は鉄骨造とし、基礎には杭及び地中梁を設けて耐震性を強化している。8年3月20日使用開始。

・復旧状況及び代替輸送

1月26日、青木～甲子園間運行再開。青木～三宮間に代替輸送バス運行。

2月11日、御影～青木間運行再開。御影～三宮間に代替輸送バス運行。

6月26日、西灘～御影間運行再開。全線開通。

六甲ライナー

・被害状況

全区間にわたって被害を受けた。住吉駅と六甲大橋南側の六甲アイランド取り付け部では完全に落橋した。

また、住吉駅では駅舎建築物の3分の2が、改築が必要なほど大破。東部第2工区では南魚崎駅へ続く歩行者デッキのエレベーター棟が傾斜した。橋梁の支承の損傷が全体にわたってみられ、全数の約4割が何らかの損傷を受けていた。

・復旧工事

橋げたは、コンクリート製の部分を鋼製にするなどして自重を軽減するとともに、ほとんどの橋梁の桁と柱の接続部等を補強した。基礎の損傷したものは、基礎幅を広げて新たに杭を打ったり周囲の地盤を固め安定を図った。

・復旧状況及び代替輸送

- 1月24日、御影本町3丁目～アイランド北口間代替輸送バス運行開始。(1月30日阪神御影南口～アイランド北口間、2月8日日本住吉神社前～アイランド北口間に路線変更。)
- 4月10日、臨時旅客輸送航路南魚崎～六甲アイランド間運行開始。
- 4月14日、六甲アイランド島内連絡バス運行開始。
- 5月12日、アイランド北口～マリパークで折り返し運転。魚崎～六甲アイランド間代替輸送バス路線新設。
- 7月20日、魚崎～アイランド北口運行再開。代替輸送バスは本住吉～魚崎間のみに。
- 8月23日、住吉～魚崎間運行再開。全線開通。

神戸市バス

・被害状況

7年1月17日、東灘区内市バス全路線欠行。魚崎営業所は施設に軽微な被害があったが、車両には特に被害はなかった。

・復旧状況

- 19系統－1月25日から通常路線を不定期運行。4月15日から通常運行。
 - 30系統－4月10日から路線を短縮、一部変形して不定期運行「本山駅前～新神戸大プール～東灘高校前」。
 - 31系統－1月20日から路線を短縮して不定期運行「森北町～渦森台」1月28日から通常路線(一部迂回)を不定期運行。4月10日から通常運行(渦森団地内で一部迂回)。
 - 34・35系統－3月13日から路線を短縮・一部変形して不定期運行「森北町～阪神御影」。5月29日から34・35系統に分離。
 - 34系統「森北町→本山駅→魚崎中学校→阪神御影→岡本9→本山駅」35系統「森北町→本山駅→岡本9→阪神御影→魚崎中学校→本山駅」。8月16日から35系統のみ通常路線を不定期運行。
 - 38系統－2月7日から路線を短縮して不定期運行「阪神御影→渦森橋」。2月28日から通常路線(一部迂回)を不定期運行。4月10日から通常運行(渦森団地内で一部迂回)。
- 全系統開通6月22日。

5 土木関係施設の被害

土木事務所では、震災後土木関係施設の被害調査を実施するとともに、区民通報の対応が当面の仕事となった。

区民通報の記録は、1月27日以降のものによるが、このデータは詳細な被害調査と見ることができるものである。

このデータは未だ整理途上であるが、3月26日までの処理状況は次のとおりである。

表-1 通報内容及び処理状況

(No.1～No.1,270 7年3月26日現在)

通報内容	1,256	処理状況	1,256	備考
A 道路	778	1 他者対応	139	1 他者対応：河川、六甲砂防、上・下水道、NTT、関西電力、JR等
B 河川	81	2 家屋、街灯等	288	2 家屋、街灯等：家屋撤去、ガレキ撤去、街灯切れ、宅地等各班対応
C 公園	39	3 対応済	192	3 対応済：支障無し、相手連絡済等
D 宅地	175	4 応急指示済	386	4 応急指示済：舗装、側溝、公園等応急工事業者指示済
E 斜面	39	5 応急未指示	185	5 応急未指示：舗装、側溝、公園等応急工事業者未指示
F その他	144	6 対応未確定	66	6 対応未確定：対応方針未確定
欠番	14	7 欠番	14	

土木関係施設として、ここでは道路、河川・砂防施設、宅地、公園についてとりあげる。

(1) 道路の被害 「阪神・淡路大震災－神戸市の記録1995年－」より

区内における道路の中で顕著な被害は阪神高速神戸線、湾岸線、ハーバーハイウェイの高架道路の被害であった。

特に阪神高速神戸線の深江付近のビルツ工法による単柱橋脚の倒壊（L＝635m）は、最も象徴的である。

また、神戸市が管理する国道・県道・市道においても、亀裂や段差、舗装の損傷が区内全域に多数発生した。

このうち、区内の幹線道路及び区画道路の被害状況は、次のとおりである。

表-2 幹線道路被害状況1

全面通行不可能(全幅)路線

7年3月26日現在

番号	路線名	被害状況	復旧状況
1	深江浜町1号線	道路欠壊（深江大橋）	橋梁完了（2車）取付部施工中
2	魚崎幹線	（東魚崎橋北）	通行止
3	（南）	（ " 南）	"
4	魚崎浜町1号線	（陥没）	完了
5	"	家屋倒壊等	完了（半幅－関電柱）
6	山口住吉線	（生協ビル）	生協で撤去予定
7	弓場線	（JR桁）	JRで施工中
8	山麓線	（高羽阪神）	23日より供用（半幅）
9	灘浜住吉川線	道路欠壊（高羽橋の北）	完了（1車）

表－3 幹線道路被害状況2

7年3月26日現在

路線名	全面通行不可(全幅)		一部通行可(片側)		通行可
	家屋等	道路欠壊	家屋等	道路欠壊	段差亀裂あり
深江浜町1号線	0	1	0	0	0
魚崎幹線	0	2	0	0	6
魚崎浜町1号線	1	1	2	0	0
魚崎甲南線	0	0	5	0	1
野寄線	0	0	0	0	4
本山御影線	0	0	0	0	2
住吉幹線	0	0	1	0	0
山口住吉線	1	0	0	0	0
東御影線	0	0	1	0	1
弓場線	1	0	0	0	4
鳴尾御影線	0	0	9	0	2
山手幹線	0	0	0	1	1
灘浜住吉川線	0	1	0	2	9
山麓線	1	0	0	0	0
合計	4	5	18	3	30

※ 2級市道以上

表－4 区画街路被害状況

(単位：箇所) 7年3月26日

番号 ブロック	区画道路全数	全面通行不可(全幅)		一部通行可(片側)		通行可		河川
		家屋・電柱等	道路欠壊	家屋・電柱等	道路欠壊	段差・亀裂あり	支障なし	護岸欠壊
1	162	58	0	42	0	5	(35.2%) 57	0
2	179	31	1	13	0	31	(57.5%) 103	1
3	203	67	0	65	2	23	(23.7%) 46	2
4	299	130	0	45	0	35	(29.8%) 89	0
5	209	57	0	34	0	24	(45.0%) 94	0
6	155	56	3	24	0	36	(23.2%) 36	2
7	314	123	0	32	1	13	(46.2%) 145	1
8	83	15	0	17	0	4	(56.6%) 47	3
9	254	43	0	46	2	15	(58.3%) 148	2
10	315	114	0	98	0	6	(30.8%) 97	6
11	145	19	1	6	2	63	(37.2%) 54	0
12	119	53	0	15	0	0	(42.9%) 51	2
21	277	1	9	7	5	57	(71.5%) 198	0
22	258	9	8	16	0	12	(82.6%) 213	0
23	656	7	13	22	12	26	(87.8%) 576	8
合計	3,628	(21.6%) 783	(1.0%) 35	(12.3%) 482	(0.7%) 24	(9.6%) 350	(53.8%) 1,954	27

※1 六甲山は除く

※2 ()内は構成比を示す

橋梁の被害は、土木局が管理する2,170橋の内、何らかの被害を受けた橋梁は74橋であった。区内では、特に臨海部の工業地帯を形成している東部第2・3・4工区と市街地を連絡する橋梁すべてが大きく損傷した。

表-5 区内の道路橋梁の主な被災状況（神戸市管理分）

名称	所在地	被災内容	備考
高羽大橋	東灘区御影塚町3 (市道灘浜住吉川線)	橋長 L=58.6m 橋台杭頭座屈、桁移動	架替
御影大橋	東灘区住吉浜町 (市道御影浜町2号線)	橋長 L=31.8m 主桁端部破損、橋台基礎破損	架替
魚崎大橋	東灘区魚崎南町3 (市道魚崎浜町1号線)	橋長 L=42.0m 橋台破損、主桁移動、橋脚傾斜	架替
東魚崎大橋	東灘区青木1 (市道魚崎浜町6号線)	橋長 L=64.8m 橋台傾斜、橋脚ケーソン基礎と柱との接合部が座屈	架替
深江大橋	東灘区深江浜町 (市道深江浜町1号線)	橋長 L=131.4m 橋台破損、橋台バラベット剪断、横桁破損	補修

(2) 河川・砂防施設の被害

区内の河川の多くは掘り込み河道であるため、これら石積護岸がよく強大な地震に耐え、護岸の局地的な被害は各所に見られたが、大きな延長にわたっての崩壊はあまり見られなかった。

一方、道路下に建設されたトンネル河川は、地下構造物なので、今回の震災による被害は少なかった。二級河川については、10河川で被害があった。

被災状況は次のとおりである。

表-6 二級河川の被災状況

河川名	箇所
高橋川	3
要玄寺川	2
天上川	6
西天上川	3
住吉川	8
西瀬川	2
天神川	5
石屋川	4
新田川	2
高羽川	2

準用河川・普通河川については、宮谷川(3箇所)・背谷川(3箇所)・鴨子ヶ原川(1箇所)で被害があった。

砂防施設関係では、砂防施設・地すべり防止施設・急傾斜地崩壊防止施設等で被害があったが、流路工施設を除いて、クラックが入る程度で設備を損傷するようなものではなかった。

表-7 砂防関係施設被災状況

事業名	事業主体	施設名	場所	被災状況
砂防事業	建設省六甲砂防工事事務所	稲荷堰堤 西谷川護岸	森北町 住吉山手	堰堤にクラック 護岸にクラック

(3) 宅地の被害

被災状況は、大半が宅地造成等規制法が施行される以前に造成された宅地の空石積であり、崩壊・はらみ出し・亀裂及び盛土地盤の地割れ等の被害が出ている。

表－8 宅地被災状況

7年8月末現在

	被災宅地	改善勧告件数 (改善要請件数)	高さ・タイプ別内訳 (カッコ内は石積擁壁、内数)					
			1 m未満	1～2 m	2～3 m	3～4 m	4～5 m	5 m以上
東灘区	589	299 (41)	6 (5)	67 (42)	77 (68)	61 (57)	36 (36)	52 (45)

(4) 公園の被害

神戸市の都市公園1,250箇所のうち419箇所(34%)が被災した。

被害の内容としては、主として石積崩壊、擁壁損傷、塗装陥没、休憩所の倒壊などが多く見られた。

表－9 公園の被害状況

No.	公園名	種別	被害額(千円)	主要被害内容	備考
1	中之町公園	街区	1,000	石碑倒壊他	仮設住宅
2	森公園	街区	3,000	池護岸崩壊他	
3	中野南公園	街区	2,700	四阿倒壊	
4	中野北公園	街区	4,100	橋クラック、コンクリート舗装破損	仮設住宅
5	五反田公園	街区	1,200	園名柱倒壊	
6	野寄公園	街区	1,800	シェルター基礎破損他	仮設住宅
8	長子公園	街区	19,300	石積崩壊他	
9	本庄中央公園	近隣	200	モニュメント倒壊(市民局)他	仮設住宅
10	天神山公園	街区	100	側溝破損他	
13	大日公園	街区	1,000	フェンス転倒他	
14	青木公園	街区	1,400	ネットフェンス倒壊	
16	五百地公園	街区	700	ネットフェンス傾倒	
17	御旅公園	街区	1,000	石碑破損他	仮設住宅
18	兼安公園	街区	200	コンクリートウォール破損	
19	宇柳公園	街区	200	石積破損	
21	神楽町公園	街区	1,500	コンクリートウォール破損他	
22	見附公園	街区	200	コンクリートウォール破損他	
23	住吉川公園	近隣	14,600	石材舗装破損他	
24	求女塚東公園	街区	4,600	石積亀裂他	
25	石屋川公園	街区	275,000	石積破損他(東灘区分)	
26	住吉公園	街区	200	舗装破損	仮設住宅
29	校北公園	街区	2,300	石積クラック	

No.	公園名	種別	被害額(千円)	主要被害内容	備考
30	川井公園	近隣	200	園門石積崩壊他	仮設住宅
31	東公園	街区	1,200	鉄柵転倒他	
33	西浜公園	街区	200	レンガ舗装破損	
34	新堀公園	街区	800	フェンス破損他	
35	内浜公園	街区	200	周辺火災の為樹木延焼	
36	宝島池公園	街区	33,500	石積擁壁崩壊他	
37	福井池公園	街区	27,000	石積破損他	仮設住宅
38	磯島公園	街区	2,300	コンクリートウォール破損他	仮設住宅
39	庄野公園	街区	3,100	石積亀裂他	
41	古寺公園	街区	8,300	石積崩壊他	
42	処女塚公園	歴史	200	スツール破損	
43	山田公園	街区	1,500	コンクリートウォール亀裂	
44	甲南台公園	街区	1,400	石積亀裂他	
46	小寄公園	近隣	12,300	舗装破損他	
53	渦森北公園	街区	200	園門破損	仮設住宅
54	東明公園	街区	200	コンクリート擁壁亀裂他	
55	十文字山東公園	街区	21,700	石積亀裂、転落	
56	十文字山中公園	街区	1,400	コンクリート擁壁亀裂	
57	十文字山西公園	街区	14,100	石積亀裂	
60	焼ヶ原南公園	街区	7,600	練石積亀裂、前方へずれ他	
61	赤塚山公園	風致	1,000	石碑転倒他(住吉学園)	
62	荒神山東公園	街区	3,800	コンクリート舗装亀裂他	
65	大山田公園	街区	200	コンクリート擁壁亀裂	
66	屋敷本公園	街区	200	コンクリート擁壁亀裂他	
69	住吉台北公園	街区	200	コンクリート舗装隆起	
73	反高林小公園	街区	200	広場陥没	
78	北青木公園	街区	200	皿溝破損他	
79	魚崎南町公園	街区	2,200	コンクリートウォール破損他	仮設住宅
81	住吉台展望公園	街区	2,700	階段沈下他	
82	田中町西公園	街区	600	コンクリート擁壁破損他	
83	魚崎中町公園	街区	4,200	石積破損、洗出し舗装亀裂他	
84	甲南町公園	街区	200	レンガウォール傾倒、亀裂	
87	深田池北公園	街区	200	練石積亀裂他	
89	本庄町小公園	街区	3,800	コンクリートウォール破損他	
90	魚崎西町公園	街区	200	ネットフェンス基礎破損	仮設住宅

No.	公園名	種別	被害額(千円)	主要被害内容	備考
92	東森北公園	街区	1,400	鉄柵延基礎破損他	
93	浜小公園	街区	200	地盤陥没、縁石ブロック破損他	
94	牛神前小公園	街区	200	鉄柵破損、皿溝破損他	
95	魚崎浜公園	近隣	24,300	ネットフェンス傾倒他	
96	住吉浜公園	近隣	32,000	グラウンド液状化他	
98	雨ノ神公園	街区	200	コンクリートウォール亀裂	
99	岡本南公園	街区	8,100	石積崩壊他	
100	本山南町小公園	街区	200	コンクリートウォール破損他	
101	本山南町北小公園	街区	200	コンクリートウォール亀裂	
103	本庄町公園	街区	5,400	インターロッキング舗装破損他	
105	赤塚山北公園	街区	200	コンクリート舗装破損	
107	庄野小公園	街区	200	コンクリートウォール亀裂、傾倒	
108	瀬戸公園	地区	150,000	入口スロープ沈下他	仮設住宅
109	住吉東町小公園	街区	200	鉄柵延基礎亀裂	
112	西ノ坪小公園	街区	200	コンクリートウォール亀裂	
114	上御影小公園	街区	4,400	レンガ舗装破損他	
115	岡本中公園	街区	200	練石積亀裂	
116	深江南町公園	街区	200	舗装破損他	
117	本庄町東公園	街区	200	電柱が転倒し樹木にもたれ他	
120	本庄町中公園	街区	200	コンクリートウォール破損他	
121	本山北畑公園	街区	200	皿溝破損他	
122	御影柳公園	街区	200	コンクリート擁壁亀裂	
123	赤塚山小公園	街区	900	玉石積亀裂	
127	向洋西公園	近隣	41,100	コンクリート擁壁沈下・地下駐車場補修他	仮設住宅
128	南青木公園	街区	1,200	皿溝破損他	マンション補修工事
130	野寄南公園	街区	1,300	石積割れ、小舗石タイル舗装隆起他	
131	向洋東公園	近隣	6,400	舗装破損他	仮設住宅
132	六甲アイランド公園	近隣	226,200	全体的地盤変動	
133	向洋町中1丁目東公園	街区	200	舗装破損他	
136	向洋町中6丁目公園	街区	200	舗装破損	
	本山街園	(街園)	200	コンクリートブロック積ウォール破損	
	J R 摂津本山街園	(街園)	2,000	レンガタイル舗装隆起、陥没他	
	西谷公園			法面崩落他	六甲砂防と調整
	六甲アイランド東緑地		12,300		
	六甲アイランド西緑地		5,000		

(5) 道路の復旧

震災直後は、倒壊した家屋や亀裂、陥没等によって通行に支障がでた所が多くあったが、人命救助・避難所への物資配給ルートの確保を円滑に行うため、迅速に処理された。

なお、今回の震災は激甚災害に指定されたため、国の査定作業が2月23日から開始され、査定が終了した所から本格的な復旧工事が着手された。幹線道路の復旧状況は表のとおり。

表-10 幹線道路復旧状況

路 線 名	全面復旧時期
阪神高速道路3号神戸線	平成8年10月末(予定)
阪神高速道路5号湾岸線(魚崎浜～六甲アイランド)	平成7年11月7日
ハーバーハイウェイ(六甲アイランド～高羽)	平成7年9月28日
国道43号	3車線化を含めて平成9年末

また、東部第2・3・4工区への進入路である橋梁も大きな被害を受けた。これら橋梁は工場地帯である埋立地と市街地とを結ぶ重要な進入路であり、復旧作業が急がれている。

表-11 橋梁の復旧予定

構造物名	復旧方法	本復旧工事中の交通処理	復旧完了予定
深江大橋	補修	半幅施工	平成8年9月
東魚崎大橋	架替	仮橋	平成9年3月
魚崎大橋	架替	仮橋	平成9年3月
御影大橋	架替	半幅施工	平成10年3月
高羽大橋	架替	通行止	平成9年3月

(6) 河川の復旧

応急復旧については平成7年3月までに二級河川については6河川、準用河川については3河川で完了した。別表参照。

本格復旧については二級河川は平成7年度末に完了予定であるが、準用河川は平成8年の梅雨時までに完了予定である。但し、高羽川については、復旧工事あわせて治水安全度の向上を図り、災害復旧助成事業を実施しているため、平成11年3月完了予定である。

(7) 公園の復旧

143公園のうち89公園が被災し、その中の47公園が建設省の都市災害復旧事業の補助を受けて工事を行っており、被害が軽微な所については、市が直営で復旧工事を行っている。

震災直後、避難地となったことや工事が主に生活道路を優先的になされたこともあり、復旧工事開始は、4月以降となった。また、仮設住宅が建設されているところについては、必要最小限の工事を行っている。

(8) 宅地の復旧

現行、私有財産制のもとでは、土地所有者が宅地の管理・保全義務を有しているため、復旧は本来、土地所有者が自ら行うべきものとされている。

区内では被害の大きかった宅地は589宅地あったが、そのうち44宅地については応急措置を行った。本格復旧のうち災害関連緊急傾斜地崩壊対策事業は50宅地あり、宅地造成等規制法に基づく災害工事の届け出は121宅地である(平成8年1月現在)。

表-12 河川災害復旧状況

番号	管理者	河川名	位置	被災状況	応急仮工事	本工事	災害査定
1	兵庫県	(二) 高橋川	東灘区 深江北町	L=62.5m 護岸崩壊		石積25㎡	2次 (12)
2	兵庫県	(二) 高橋川	東灘区 本庄町	L=159.5m 護岸崩壊	土のう設置(完了)	石積 486㎡ 橋梁 1橋	2次 (13)
3	兵庫県	(二) 高橋川	東灘区 南森町	L=288.0m 暗渠目地打ち		目地補修11箇所 目地充填 106m	3次 (93)
4	兵庫県	(二) 要玄寺川	東灘区 本山南町	L=50.0m 護岸崩壊		ブロック積 150㎡ コンクリート擁壁14㎡	7次 (281)
5	兵庫県	(二) 要玄寺川	東灘区 本山中町	L=183.8m 護岸崩壊	土のう設置(完了)	石積 778㎡	2次 (14)
6	兵庫県	(二) 天上川	東灘区 魚崎南町	L=200.5m 護岸崩壊		L型擁壁護岸376.5m 矢板工 385m	4次 (184)
7	兵庫県	(二) 天上川	東灘区 魚崎南町	L=103.3m 護岸崩壊		ブロック積 377㎡	2次 (15)
8	兵庫県	(二) 天上川	東灘区 魚崎中町	L=111.7m 護岸崩壊		石積63㎡ コンクリート擁壁 125㎡	2次 (16)
9	兵庫県	(二) 天上川	東灘区 甲南町	L=129.6m 護岸崩壊		ブロック積 295㎡ ガードレール設置86m	2次 (17)
10	兵庫県	(二) 天上川	東灘区 田中町	L=97.3m 護岸崩壊		ブロック積 392㎡ ガードレール設置 117m	2次 (18)
11	兵庫県	(二) 天上川	東灘区 岡本	L=149.8m 護岸崩壊		石積 121㎡ ガードレール設置28m	2次 (19)
12	兵庫県	(二) 西天上川	東灘区 岡本	L=65.0m 護岸崩壊		石積67㎡	2次 (20)
13	兵庫県	(二) 西天上川	東灘区 岡本	L=85.5m 護岸崩壊		石積77㎡	2次 (21)

番号	管理者	河川名	位置	被災状況	応急仮工事	本工事	災害査定
14	兵庫県	(二) 西天上川	東灘区 岡本	L=302.3m 護岸崩壊		石積114㎡ コンクリート擁壁109㎡	2次 (22)
15	兵庫県	(二) 住吉川	東灘区 魚崎南町	L=140.0m 護岸崩壊		石積99㎡ パレット30m	2次 (23)
16	兵庫県	(二) 住吉川	東灘区 魚崎南町	L=48.5m 護岸崩壊		石積122㎡	2次 (24)
17	兵庫県	(二) 住吉川	東灘区 魚崎南町	L=264.0m 護岸崩壊		石積286㎡ クラフト工597㎡	2次 (25)
18	兵庫県	(二) 住吉川	東灘区 魚崎中町	L=111.2m 護岸崩壊		石積201㎡	2次 (26)
19	兵庫県	(二) 住吉川	東灘区 魚崎北町	L=377.5m 護岸崩壊	土のう設置(完了)	石積2,697㎡	2次 (27)
20	兵庫県	(二) 住吉川	東灘区 西岡本	L=127.6m 護岸崩壊		石積346㎡ コンクリート擁壁127㎡	2次 (28)
21	兵庫県	(二) 住吉川	東灘区 西岡本	L=481.0m 護岸崩壊		石積1,646㎡	2次 (29)
22	兵庫県	(二) 住吉川	東灘区 西岡本	L=88.0m 護岸崩壊	土のう設置(完了)	石積313㎡ クラフト工597㎡	2次 (30)
23	兵庫県	(二) 西瀬川	東灘区 住吉南町	L=669.0m 暗渠打換	目地仮補修(完了)	暗渠打換64m 目地充填194m	3次 (94)
24	兵庫県	(二) 西瀬川	東灘区 住吉本町	L=1,025.0m 暗渠打換		暗渠打換67m 目地充填117m	3次 (95)
25	兵庫県	(二) 天神川	東灘区 御影石町	L=144.0m 護岸崩壊		石積263㎡	2次 (31)
26	兵庫県	(二) 天神川	東灘区 御影石町	L=407.0m 護岸崩壊		石積935㎡ 床板51㎡	2次 (32)

番 号	管理者	河 川 名	位 置	被 災 状 況	応 急 仮 工 事	本 工 事	災 害 査 定
27	兵庫県	(二) 天神川	東灘区 御影中町	L=93.0m 護岸崩壊		石積163㎡	2次 (33)
28	兵庫県	(二) 天神川	東灘区 御影中町	L=358.0m 護岸崩壊		石積764㎡床版51㎡ ブロック積139㎡	2次 (34)
29	兵庫県	(二) 天神川 (新川)	東灘区 御影本町	L=40.0m 暗渠目地充填	陥没路面 舗装復旧(完了)	目地充填 4箇所	4次 (185)
30	兵庫県	(二) 石屋川	東灘区 御影塚町	L=50.0m 護岸崩壊		石積307㎡	2次 (35)
31	兵庫県	(二) 石屋川	東灘区 御影塚町	L=10.0m 護岸崩壊		コンクリート擁壁34㎡	2次 (36)
32	兵庫県	(二) 石屋川	東灘区 御影塚町	L=12.0m 護岸崩壊		石積362㎡	2次 (37-0)
33	兵庫県	(二) 石屋川	東灘区 御影塚町	L=30.0m 護岸崩壊		石積255㎡	2次 (37-1)
34	兵庫県	(二) 新田川	東灘区 御影町	L=130.0m 護岸崩壊		石積704㎡ ガードレール設置67m	2次 (43)
35	兵庫県	(二) 新田川	東灘区 御影町	L=10.0m 護岸崩壊		ブロック積51㎡	2次 (44)
36	兵庫県	(二) 高羽川	東灘区 御影塚町	L=33.3m 護岸崩壊		鋼矢板42枚土嚢25㎡ 土留工4.1t	3次 (96)
37	兵庫県	(二) 高羽川	東灘区 御影塚町	L=67.6m 護岸崩壊		鋼矢板154枚 土留工14t 土嚢 5㎡	3次 (97)
38	兵庫県	(二) 高羽川	東灘区 御影塚町	L=55.2m 護岸崩壊		鋼矢板護岸55.2m	5次 (274)

⑥ 山麓部の被害

六甲山系は地質が風化花崗岩で崩壊しやすく、地形的に豪雨にともなう地滑り、崖崩れなどによる被害を受けやすい。したがって、これまでも、しばしば災害に見舞われている。

震災直後から国・県・市が、地滑り危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所、土石流危険渓流などの調査を行い、危険度に応じたランク分けをしている。区内の山麓部の緊急を要する被災箇所の対応状況と二次災害の予想される緊急性のある民有宅地急傾斜地崩壊対策事業箇所は表-1・2のとおり。

なお、二次災害の発生が予想される箇所図が、6月15日発行広報こうべ臨時号（東灘区）で掲載されるとともに土木事務所・消防署・区役所で詳細地図の閲覧が行われた。二次災害の意義・公表の目的は次のとおりである。

表-1 東灘区 緊急を要する被災箇所（山麓部）の対応状況

	事業箇所	対応状況	事業主体
1	本山町北畑 保久良鋼製枠堰堤	鋼製ダム1基 平成8年1月末完成予定	建設省 六甲砂防工事事務所
2	野寄八幡場 十文字鋼製枠堰堤	鋼製ダム1基完成 コンクリートダム完成	
3	住吉山手9丁目 焼ヶ原堰堤	床固工1式、本堤工1式 平成8年3月末完成予定	
4	森北町地先（高橋川） 稲荷堰堤	施設補修完成	
5	住吉山手地先 西谷川護岸工	法面工1式、流路工1式 平成8年3月末完成予定 （渦森橋上流側） 渦森橋下流側は平成8年度末完成予定	
6	本山町岡本 二楽上流堰堤	除石工1式完了	
7	西岡本6、7丁目 （ヘルマンハイツ）	平成7年度 法枠工 抑止杭工（55本） 集水井工（2箇所） 平成8年度 法枠工 擁壁工（100m） アンカー工（300本） 排水ボーリング（50本）	兵庫県 神戸土木事務所
8	住吉山手9丁目	法枠工（枠内厚層基材吹付） 10月完成	神戸市河川砂防課
9	本山町岡本 水晶第2	谷止工1式 完成	兵庫県 六甲治山事務所
10	本山町岡本扇山 扇山	谷止工1式 平成8年3月完成予定	
11	住吉台 エクセル住吉台	土留工、法切工、法枠工 平成8年1月末完成予定	
12	住吉山手6丁目 白鶴美術館	法枠工1式 11月末完成	

表－２ 東灘区 民有宅地急傾斜地崩壊対策事業

事業箇所の所在地	宅地数	備考
住吉山手 8 丁目 17	4	
住吉山手 8 丁目 14	4	
岡本 7 丁目 16	1	
岡本 7 丁目 16 (宝蔵マンション)	3	
御影山手 3 丁目 17	3	
鴨子ヶ原 3 丁目 28 (下)	4	
鴨子ヶ原 3 丁目 28 (上)	1	
住吉山手 7 丁目 5	5	
住吉山手 4 丁目 13	4	
森北町 6 丁目 4	7	
住吉山手 5 丁目 16	2	
住吉山手 8 丁目 10 (-16、-13)	4	
住吉山手 8 丁目 18 (-7、-3)	5	
住吉山手 9 丁目 3	2	
森北町 6 丁目 1	7	
住吉山手 4 丁目 1 7	6	
森北町 6 丁目 4 -53	1	
17箇所	63	

(1) 二次災害の意義・公表の目的

① 二次災害とは

ア. 阪神・淡路大震災により、神戸市内は大きな被害をうけた。

また、市内の背後に連なる六甲山系は、風化の進んだ非常に崩れやすい花崗岩で形成されている。

このため、大雨が降った場合には各所に山崩れや崖崩れが発生しやすく、今までにも昭和13年、昭和42年の大災害をこうむった苦い経験をもっている。

イ. 一度、災害が発生した場合、自然の猛威から財産を守ることは、きわめて困難なことである。

災害からまず守らなければならないことは、尊い人の生命である。

二次災害とは、地震による被災箇所が大雨等によって、さらに拡大し、尊い人の生命を奪うことをいう。

ウ. 特に、山麓部では、目に見えて崩れている場所は危険性が判断できますが、そうでない場所は斜面がどのような状態になっているかわからないので、大雨の時には不安定な斜面が崩壊し、二次災害が発生するかもわからない。

エ. また、河川、道路、宅地被害、雨水幹線、ため池で地震により被災している箇所は大雨による二次災害の発生が危惧されている。

オ. まず、どのような事態になっても、自らの命を自らが守るといふ、日頃からの心構えをもつていただき、勇気をもって避難していただけるようお願いする。

② 公表の目的

ア. 六甲山系は、風化の進んだ非常に崩れやすい花崗岩で形成されている。

このため、大雨が降った場合には各所に山崩れや崖崩れが発生しやすく、今までにも、昭和13年、昭和42年の大災害をこうむった苦い経験をもっている。

- さらに、この度の阪神・淡路大震災により、地盤の緩みや施設の被害のため、山麓部をはじめとして、河川、道路、宅地被害、雨水幹線、ため池においても二次災害の発生が危惧されている。
- イ. このため、今後、発生が危惧される豪雨等による土砂災害を始めとした、二次災害に備えるため、予想される危険箇所を公表することにした。
- 地域の皆様に危険箇所について、認識していただくともに、災害が予想される時の避難など、日頃から心構えを持っていただき、被害を最小限度にくいとめたいという主旨で、公表したものである。
- ウ. 危険箇所の周知を図り、日頃から大雨等の気象情報に十分注意するなど、二次災害に備える心構えを持っていただくようお願いする。